



ハイライトよねやま 206

2017年5月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 残り2カ月、よろしくお願ひします —

4月までの寄付金は前年同期と比べて9.3%減（普通寄付金0.7%増、特別寄付金14.0%減）、約1億2千万円の減少となりました。近年、毎年4月に数千万円の法人大口寄付がありましたが、今年度から当該法人については受領した株の配当金収入となり、寄付金としての扱いではなくなったことが影響しています。今年度も残すところ2カ月弱となりました。普通寄付金をまだお送りいただいていないクラブがありましたら、お早目にご送金くださいますようお願い申し上げます。

博士号取得状況 — ご報告お待ちしております —

2016 学年度（2016年4月～2017年3月）に博士号を取得した奨学生・学友は34人、累計では3,598人となりました（5月10日現在）。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計をお贈りしています（奨学期間終了後の取得でも申請可）。時計裏に名前が刻まれた、世界にただ一つの時計です。博士号を取得した奨学生・学友は、米山事務局と世話クラブに報告してください。

※発送先は原則として世話クラブです。ぜひ世話クラブ例会で贈呈してください。



申請方法

「学位記の写し」が「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へ FAX またはメールでお送りください。

FAX : 03-3578-8281/メール : scholars@rotary-yoneyama.or.jp

今夏、熊本に集まりませんか？ — 感謝 in 熊本 —

2017-18年度は
財団設立50周年



ロータリー米山記念奨学会は今年7月、財団設立50周年を迎えます。これを記念して、世界の米山学友が集まり50周年の節目を祝う「感謝 in 熊本」が開催されることになりました。

米山学友合同会実行委員会（実行委員長 何玉翠氏）主催、第2720地区米山記念奨学委員会と同地区学友会がホスト、当会の後援によるイベントです。現役の米山奨学生、国内外の学友はもちろん、ロータリアンや家族の参加も歓迎いたします。ふるってご参加ください！

- 日時:** 2017年8月26日(土) 午後17時～21時 (式典&懇親会)
- 場所:** A N Aクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
- 登録料:** ロータリアン1万円、米山学友・奨学生5千円、一般友人・家族6千円
- 申込:** 日本国内在住の方は米山学友合同会へメール送信し指定口座へ振込
- 締切:** 2017年7月31日(状況により変動する場合があります)

※ご希望の方には申込用紙・チラシをお送りします。
また、詳細情報を後日、米山奨学会ホームページでご案内します。



帰国学友歓迎会で奨学生 2 期生を紹介—韓国米山学友会—

韓国米山学友会がソウル市内で 4 月 15 日、今年韓国へ帰国した学友の歓迎会を開きました。この行事は毎年恒例で、今年は新入会員 3 人を含む 30 人が参加しました。

当日は、韓国学友会と、同学友会を母体として昨年創立された韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブが協同で支援する、日本人奨学生第 2 期生への奨学金授与も行われました。この制度は、韓国で学ぶ日本人留学生に奨学金を支給し、学友がメンター（カウンセラー）とな



って留学生生活を支援するもので、昨年からスタート。親交の深い台湾米山学友会が 2009 年から実施する「日本人若手研究者対象奨学金」がモデルとなっています。奨学金の原資は、韓国学友からの寄付が主ですが、今年は、韓国ロータリーの関係団体など新たな賛同者からの寄付も増え、昨年



日本人奨学生とそのメンターとなる学友を囲んで

より 1 人増員して、3 人の日本人奨学生が採用されました。歓迎会では、奨学生 3 人とメンターに就く学友が紹介され、メンバーたちから温かい拍手が送られました。

韓国米山学友会および韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブの副会長であり、日本人奨学生の選考委員を務める鄭亨在さん（2011-12/本荘 RC）は、「日本のロータリアンの皆さんから頂いた恩恵に感謝すべく、今後も日本人留学生への支援と協力を拡大していきたい」と、メッセージを寄せてくれました。

台中文心 RC が創立 10 周年記念式典を開催

4 月 22 日、台湾・台中市内のホテルで、台中文心 RC の創立 10 周年記念式典が開催されました。

同クラブは、2007 年に台中の米山学友を中心に発足。初代会長を郭錦堂さん（1984-86/相模原中 RC）、第 2 代会長を王飛龍さん（1984-87/東京神田 RC）が務め、今年度クラブ会長を務めるのも、学友の何淑鈴さん（1984-85/東京城東 RC）です。

何さんによると、創立時 32 人だった会員は、この 10 年で 61 人と倍増。米山学友の創立会員 8 人のうち、結婚、出産や海外転勤などで 4 人が退会するも、日本からゲストを迎える際には通訳に駆けつけるなど、クラブとの繋がりは続いているようです。同クラブでは、台湾の高山部集落への水道設置や、貧困児童・学生への IT 教育支援などの奉仕活動に尽力するほか、台湾米山学友会の「日本人若手研究者対象奨学金」に毎年定額を寄付して協力しています。記念式典には、学友会のメンバーも駆けつけ、喜びを分かち合いました。



記念式典に駆けつけた台湾米山学友会メンバーらと

この 10 年を振り返り、「ロータリーに入会してから、いろいろ勉強させていただき、社会に奉仕できることを光栄に思っています」と語る何さん。今年度は、新たに相模原中 RC（神奈川県）と友好クラブを締結し、今後一層の国際奉仕、国際親睦活動に励みたいと、意欲を新たにしています。